

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|---------------------------|
| 事業所番号 | 2392500100 |
| 事業所名 | 春日井ケアハートガーデン グループホーム 細木の社 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|------|--|----|
| 重点項目 | 事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2) | 評価 |
| | 町内会に加入し町の祭り、清掃にも参加している。ホームの夏祭りやクリスマスなどは回覧板で呼びかけたり、町内会未加入の世帯が多いこともあり、職員が一軒一軒お知らせを配布した。地域包括支援センターとの連携により、介護予防教室を開催し10名を超える参加があった。入居者は町内会の交通監視で、登校する児童の見守りを行っている。 | |
| 重点項目 | 運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3) | 評価 |
| | 運営推進会議は、昨年7月、今年3月、8月の開催が確認された。会議には地域包括支援センターの職員が必ず参加している。春日井市は認知症サポーターが少なく、運営推進会議を利用し啓蒙活動に努め、ゆくゆくは地域との防災訓練も視野に入れて提案している。 | |
| 重点項目 | 市町村との連携(外部評価項目:4) | 評価 |
| | 行政との連携は法人の主事が担当し、月に1回程度行き来している。法解釈の問題や諸届けの確認、相談などを行っている。施設長は市の要請によりキャラバンメイトを修了し、1月からは認知症サポーターの講師として活動する。8月には地域包括支援センターと連携し介護予防教室も開催した。 | |
| 重点項目 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6) | 評価 |
| | 家族は多い人で週に2~3回は来訪し、時には1時間ほど相談する人もある。家族会はないが毎月ホーム便りを発行し、家族や運営推進委員に送付している。来訪した際に一緒に食事をしたり、イベント時には後片づけを「ボランティア」と称して手伝ってくれる家族もある。 | |
| 重点項目 | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | |
| | 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | × |
| | 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | |
| 総合評価 | | × |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | × | × | | | | |

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|----------------------|---|
| 2.事業所と地域のつきあい | (例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3.運営推進会議を活かした取り組み | (例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4.市町村との連携 | (例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6.運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。 |

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。